

> 感染性胃腸炎・インフルエンザにご注意ください。 <

田方地区でも、ウイルス感染症がまだまだ見られます。発熱やおう吐症状がある時は、早期対応・治療をお願いします。

● 感染性胃腸炎とは

感染性胃腸炎（流行性おう吐下痢症）は、ウイルスなどが原因となって発症する胃腸炎のことです。「感染性胃腸炎」は、これらウイルス性胃腸炎の総称です。私たちがよく耳にするウイルスは、ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等で、ロタウイルス、アデノウイルスによる胃腸炎は、乳幼児によく見られます。

● 症状

感染性胃腸炎の症状は、病原体により異なり、また個人差もありますが、下痢、おう吐、悪心、腹痛、発熱などをきたします。ロタウイルスを原因とする場合は、便が白色になることもあります。また水のような下痢、血便となる場合も多いです。症状が重い場合は脱水症状をおこすこともあります。

● 症状がみられた時

〇すみやかに受診しましょう。そして医師の指示を受けましょう。

● 二次感染を防ぐために次のことに注意しましょう

(1) 便・吐物の取り扱い

- ・ 便、吐物のついた下着の洗濯等をする時は、素手で直接触れずに、ゴム手袋を使用して処理しましょう。
- ・ 洗濯は塩素系漂白剤を100倍に薄めた液に30分程度つけるか、80度の熱湯に10分程度つけてから洗いましょう。

(2) 手洗い、うがい

- ・ 手は石けんと流水で十分に洗いましょう。
特にトイレの後や食事の前にはきちんと洗うことが大事です。



(3) 室内の清掃

- ・ ドアの取っ手、便器など（金属以外の部分）は、60～600倍に薄めた塩素系漂白剤などで拭きます。
- ・ 吐物で汚れた床などは、塩素系漂白剤を薄めた液のぞうきんで拭き、ぞうきんはビニール袋などに入れ塩素系漂白剤につけてから処分しましょう。または、ペーパータオル等で拭きビニール袋に入れ、しっかりヒモ等で結び、燃やせるゴミとして捨てます。

お願い

- ◎ 学校でおう吐下痢により汚してしまった衣類等は、他の児童生徒への感染防止のためビニール袋にそのまま入れて持ち帰っていただいています。お手数ですが、帰宅後の消毒または処分をお願いします。
- ◎ 感染防止のため、ご家庭でも石けんでの手洗いをご家族皆さんで実施してください。

一番の予防は、たっぷり睡眠をとり、抵抗力をつけておくことです。生活リズム

をととのえて、感染症を予防しましょう。（手洗いも忘れずに！）



